第２３回　３４歩く会　　平成３１(2019)年４月６日(土)

日本全国の桜を巡る

多摩森林科学園と多摩御陵を巡る

撮影；川鍋正義、編集；川鍋正義／岡田正嗣、印刷；伊澤克夫

この数年、異常気象であちこちで被害が出ておりますが、今年の桜はどうでしょうか。　春といえば桜ですね、桜の下をゆっくり歩きたいものです。桜の開花時期は、その年の気候により早くなったり、遅くなったりで、なかなか予想が付きません。北へ南へと桜の咲いているところまで行くのも大変です。

そこで、日本全国の種々の桜が集められ植えられている桜の園「多摩森林科学園」に行きましょう！多摩森林科学園には、日本全国の桜を集めて、そのクローンを植えております。か弱い一重の桜から八重桜まで 500 種以上の桜が植えられており、3 月末から 4 月末まで桜の花を楽しむことが出来ます。

そこで今回は、ＪＲ高尾駅に集合して、15 分ほど歩いて「多摩森林科学園」に行きます。入園料 400 円で入園して、少しの間、林の中の遊歩道を進むと、いよいよ桜の林の中に入ってゆきます。

桜の林の中は少し上り下りや階段があるので、しっかりした履き物が良いでしょう。ゆっくり登って行く遊歩道の左右には、出生地や名称などが書かれた名札が付けられた桜が植えられております。谷の反対側の斜面の桜の群生も見られ、百花繚乱の景色を楽しむことが出来るでしょう。桜を十分楽しんだ後、見晴らしの良いところで昼食に致しましょう。　なお、トイレは園の中にも何カ所かあります。

昼食後も桜の園の中を巡り、色とりどりの桜の花を楽しみましょう！

多摩森林公園を出たら、しばらく家々の間を進み、こんもりとした杉の大木が生い茂った「多摩御陵」に行きます。多摩御陵は、大正天皇・皇后、および昭和天皇・皇后が眠っておられる御陵です。長い参道は大きな杉の並木になっており、砂利が敷き詰められた長い参道の先には、立派な円墳が見上げられます。俗世間とはかけ離れ、静まりかえり、荘厳な気持ちにもなります。

御陵を参拝の後は、再び家々の間を歩き、ＪＲ高尾駅に戻ります。ここで解散としましょう。

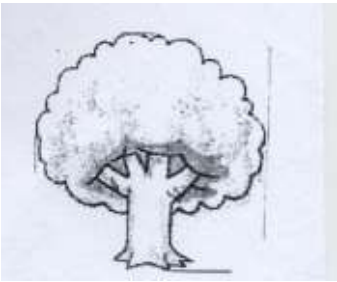
そして、今日の反省会とクラス会をやり、多いに盛り上がりましょう！（歩行距離；約５ｋｍ）

もし皆さんの足の具合がよろしかったら、高尾駅から京王線で一駅の「高尾山」に行っても良いかも。ただし人出が多いと思われます。多摩御陵の後に行っても良いし、または多摩御陵は省略して行ってもよいですが…　しかし土曜日で大混雑になりそうなので、別の機会に行った方が良いと思われます。

1.　開催日；　平成３１(2019)年４月６日（土）　１０時集合
2.　集合場所；　**ＪＲ高尾駅**
3.　歩行コース；　(ト)はトイレ

ＪＲ高尾駅(ト)→多摩森林科学園(ト)→園内頂上付近の休憩所(昼食)(ト)　→科学園入口(ト)→
10:00　　10:15　　11:30　12:00　　12:30

→多摩御陵(ト)——→ＪＲ高尾駅(ト)→(ｸﾗｽ会)
12:45　13:30　　4:00



第２３回　３４歩く会

平成３１(2019)年４月６日(土)

日本全国の桜を巡る

多摩森林科学園と多摩御陵を巡る

たましんりんかがくえん

多摩森林科学園

開園時間 午前9時30分から午後3時30分まで
4月は9時開園（閉門は午後4時です）

入園料 4月：大人400円 子供150円
5～3月：大人300円 子供 50円
＊子供とは小・中・高校生です

休園日 毎週月曜日（ただし3月～5月連休は無休）
月曜日が休日に当たる場合はその翌日
12月26日から1月6日まで

●JR高尾駅北口から徒歩約10分
●駐車場はありません

●酒類の持ち込み、飲酒はできません。

●ゴミはお持ち帰りください。

●食事はベンチのある所でお願いします。
●食品の販売はありません。飲み物の自動販売機は森の科学館前にあります。
●園内は禁煙です。（喫煙所は森の科学館左横1ヶ所のみです）

学習入園
小・中・高校等における学習支援を目的（4月から5月連休）を除く平日開園日に、学習入園を実施しています。詳細は多摩森林科学園ホームページ「見学案内」をご覧下さい。

お問い合わせ先
森林総合研究所 多摩森林科学園
〒193-0843 東京都八王子市廿里町1833-81
TEL：042－661－0200（森の科学館／お客様専用番号）
メール：kouhotama@ffpri.affrc.go.jp（広報担当）
ホームページ
http://www.ffpri.affrc.go.jp/tmk/
ブログ【高尾の森からの季節便り】
http://tmkffpri.sakura.ne.jp/wp/

■：案内板
◎：標識柱
休：休憩所
🚻：トイレ

標識中の番号は順路を示すものではありません。

サクラ保存林 ～3月後半から4月末まで華やかに咲く～

8ヘクタールの広さを持つサクラ保存林には、日本全国の主要なサクラの栽培品種や名木、天然記念物などの接ぎ木クローンが、約500栽培ライン、1,400本植えられています。

サクラの栽培品種は江戸時代以前から多くの種類が育成されてきましたが、現代に引き継がれているのはその一部です。このような伝統的栽培品種を収集・保全し、正確な識別・分類や系統関係の研究を進めています。

サクラの開花期については約30年間の観測が継続されています。'染井吉野' の開花記録は気象庁によって全国で蓄積されていますが、サクラ保存林では同じ場所での多種類の観測記録が蓄積されています。

●園内での販売や業としての写真撮影などは、事前に園長の許可が必要です。
●不快な感を与えると認められる方は、入園をお断りします。
●その他、係員の指示があった場合は、それに従ってください。
●強風注意報、暴風警報、大雨警報が発令された場合等は閉園となりますので、気象情報にご注意ください。

2018.3. 森林総合研究所 多摩森林科学園 発行

第23回　34歩く会　　平成31年(2019年)4月6日

日本全国の桜を巡る

JR
高尾駅

第22回　３４歩く会　　２０１９年4月6日(土)

日本全国の桜を巡る　歩行記

今年の 5 月 1 日には平成天皇から新天皇に代が変わる。4 月 1 日には新元号が「令和」になると発表されたので、今回は平成最後の「34あるく会」だ。

集合時間の 40 分前の 9 時 20 分頃に JR 高尾駅の北口に行くと、そこにはザックを持った沢山のハイカー達で溢れていた。小仏方面に行くバス停は長蛇の列で、何台かのバスは超満員で出発していった。

昨日は春の嵐が吹き荒れたが、今日は穏やかな暖かい晴天だ。しかし集合場所が東大和から少し離れ、高尾駅なので、参加者は 10 名集まるかどうか・・・　しばらくすると、郡さんを初め懐かしい仲間が次々に元気な顔を見せる。 体調を崩してしばらくお休みしていた石井さん、尾崎さん、さらに後藤さんも久しぶりに元気な姿を見せてくれた。元気になって、またご一緒にウオーキングできるのは素晴らしく嬉しい限りだ。集合時間が近づき、いざ出発という時に、木下さんが身内の忙しいところを参加してくれた。集合場所を八王子駅と勘違いしていたのを、金ちゃんの電話で間一髪間に合った。

今日は天候に恵まれ、また病から回復されて元気になった方々が参加して下さったため、総勢 17 名の参加となった。 本日のウオーキングのコースなどを説明して、いざ出発(10:00)。

高尾駅から北に向かい、国道 20 号線の甲州街道を横断して、さらに浅川を渡ると、次第に緩やかな登りになる。道端には真っ黄色なタンポポの花が転々と咲いており、付近の家の庭先には、花桃やしだれ桜や日向みずきなどが満開になっており、まさに春の花の中を歩いているようだ。 皆さん久しぶりの再会で、おしゃべりをしながら歩いているうちに、間もなく多摩森林科学園に到着し、入園料 400 円を支払って入園。(10:20) 園内に入ると直ぐに、お団子やお菓子などを売っているテントがあった。「森の科学館」のベランダには、沢山の木の棒の杖が立てかけてあり、「ご自由にお使いください」とある。桜の園は山道でもあるので、我々の仲間もありがたく借用する。多摩森林科学園は、江戸時代は幕府直轄地、明治時代は御用林となり、大正 10 年に林業試験場となり、1992 年から一般公開され、8ヘクタール、1500 本の桜がある。

園内に入り、先ずは雑木林のような樹木園の中を歩く。 谷川に沿って遊歩道が良く整備されており、脚に伝わる土の感触がとても良い。遊歩道の脇には樹木の名前やその説明が書かれた案内板があり、また付近にいる鳥や小動物、山野草等の写真や説明が書かれた案内板なども至る所に設置されている。 そんな遊歩道を 10 分ほど歩くと、樹木園を抜けていよいよ桜のゾーンに入る。

桜のゾーンは山の斜面になっており、いくつかのルートが設置されている。 そこで我々は眺めの良い尾根路の「夫婦坂コース」を歩くことにする。このコースはいきなり急な登り階段になったが、直ぐに視界が広がり満開の桜や未だ蕾の桜、ピンクや白色の桜など、色とりどりの種々の桜が目に飛び込んできた。 病み上がりの仲間もいるので、ゆっくり、ゆっくりと景色を眺め、桜を一本一本見ながら歩く。

階段を更に登ると、真っ直ぐに伸びた男坂と、右に迂回する女坂に分かれる。我々は景色を楽しみながら女坂をゆっくり登ることにする。尾根路から見下ろす谷間の方には、色の濃いもの薄いもの、白いものなど種々の桜が重なり合って咲いており、なんとも言えない眺めだ。遊歩道の脇の桜の一本一本には、京都や熊野や東北など、その桜の出生地や名称、種類の解説などが書かれている。 桜の名称も凝ったものや粋なものなど色々ある。濃いピンクのしだれ桜には「陽光」(ヨウコウ)という名称が付いている。ふと私の横を見ると黒須ヨウコさんが、その桜に見入っている。

階段を上まで登り、平坦な遊歩道を歩くと、一歩進むごとに周りの桜の景色が次々に変化し、見飽きない。足下からは土の弾力が伝わってきて、なんとも心地よい。桜の大パノラマを楽しみながらしばらく歩くと、日だまりの休憩所に出る。脚に自信の無い方はここからのバイパスを勧めたが、全員迂回路を進む。 迂回路は、途中階段の上り下りがあり、一段一段の段差が高くて足の短い我々には少々苦痛だった。しかし、ゆっくりゆっくりと、一歩一歩登り、何とか眺めの良い平坦な遊歩道に出る。ここからは、下方の満開の桜の上に、八王子の市街地が見渡せた。この辺は、この科学園の一番高いところで、標高は 200m 以上だ。大きなしだれ桜の下を通り、試験林の脇を歩いて行くと、近くでウグイスが良い声で鳴いており、我々を歓迎している。我々も口笛でウグイスの鳴き声をまねして、ウグイスと合唱を楽しんだ。「梅に鶯」ではなく、

「桜に鶯」という豪華な配役の競演だ。
やがて山の上の休憩広場に到着。大きな樅の木を縦切りにした椅子やテーブルが設けられた東屋があり、先行して歩いていた伊西さん達が場所を確保しておいて下さった。少し時間は早いが、山道を歩いてきたのでここで昼食とする。(11:10)全員椅子やベンチに座り、待ちに待ったお弁当を広げる。桜の園を見下ろしながらのお弁当は格別だ。山道を登ってきたのでお腹が空いており、オニギリなどを無心にパクつく。やがてキュウリの塩漬けや、ヨモギの大福餅やお菓子など、次から次へとお裾分けが回ってきて、もう食べきれない。お腹も一杯になってしまった。都子さんからは新鮮なブドウのデザートまでいただく。この東屋の柱には「猿に注意」と、張り紙があるが、我々がワイワイガヤガヤとやっているので猿も見かけない。 時折吹く風に、早咲きの桜が花吹雪になっている。 ゆっくり休み、お腹も一杯になったところで再度出発。(11:45)
しばらくは平坦な曲がりくねった尾根路の遊歩道を歩く。 展望の良い広場には大きな桜の木が満開になっており、ここで記念撮影。この横には八重のしだれ桜が沢山植えられており、風に揺れるピンクの花が素敵だ。 遊歩道はやがて下り坂になり、その道端には真っ黄色な山吹が沢山咲いている。一面ピンクに染まった桜の下の黄色い山吹は実に色鮮やかで、なにやら郷愁も感じる。
更に下って行くと、往路と一緒になり樹木園に出る。樹木園の中は往路とは異なるルートを歩く。森の中の遊歩道は、なんとも言えない土の弾性が足に伝わってきて誠に心地良い。 やがて科学園の入口に出て、「森の科学園」の展示館の前で小休止。 一部の人達はまた「モグモグタイム」！ ここで諸江さんが那須にいる大友さんに電話。大友さんは前回参加されたが、今回は所用があって参加できなかったのだ。G組の仲間で交互に電話して「今度は 11 月だからね！」と再会を約す。
多摩森林科学園を出て、信号を渡り多摩御陵へと向かう。多摩御陵は、科学園とは道路を隔てた東側に位置する広大な敷地が続いている。多摩御陵の南側の路を歩いて行くと、塀に沿ってチューリップが沢山咲いており実に美しい。近くの家の方が自主的に植えて管理しているとのことだ。 やがて多摩御陵に到着し(12:55)、正門を入ると、その先には広い砂利道が右の方に緩やかに曲がって伸びており、その両側には大きな杉の並木が続いている。その参道に踏み入れると、静かで荘厳な気持ちになり、俗世間を離れた別世界のようだ。しばらく砂利道を歩いて行くと、やがて大正天皇の多摩御陵の前に出る。御陵には桜は無いのかしらと思っていたが、その予想は外れ御陵の前には何本かの桜が咲いている。 墓前に一礼をした後、その右側にある奥様の貞明皇后の多摩東御陵へ。「ご夫婦なのに 50mも離れて埋葬されているなんて可哀想]と、仲間の女性の感想。「その点、私たちは一つの墓の中に入れて幸せね！」と。
更にその先の昭和天皇の武蔵野御陵へ。 こちらは大正天皇よりも前広場が広く、しだれ桜が満開になっている。 御陵の前には警備の警察官がおり、話を聞くと、この 4 月 23 日には現平成天皇が墓参に見えるので、当日は一般の人は全面的に立ち入り禁止になるという。「平成天皇のお墓はどこになるの？」と不謹慎な質問をしたが、この警備員は良く解らないと・・・ そしてその隣の香淳皇后の武蔵野東御陵にお参りをして、その前で全員一休み。静かで、小鳥の鳴き声しか聞こえず、春の暖かい日差しの中で俗世間を忘れる。 昭和天皇の武蔵野御陵からは、入場時とは異なる参道を歩いて正門に出る。(13:40)
多摩御陵を後にして元来た道を戻っていると、付近のご婦人が声をかけてくれた。そして高尾駅の南側には菅原道真の、2階建ての家ほどの高さの大きな銅像があるので是非見ると良いと勧められる。 ふと道の南側を見ると、浅川の土手に沿って桜並木が満開だ。桜は河川敷の方にあり、フェンスがあって木下まで行けないので、橋の上から眺めることにする。橋の上から桜並木を眺めて、甲州街道に出る。 どこかで全員でコーヒータイムをしたいとの希望があり、後藤さんのオススメで南口のショッピングモールまで歩く。フーズコーナーで各自アイスクリームやメロンソーダなどをいただき、今日一日の疲れを癒やす。そこから高尾駅まで戻ったが、やはりアルコールで一杯やらないと・・・ということになり、木下さんのお手配により二次会場へ。そしてビールでカンパーイ！今日は沢山歩いたので(17000 歩)ビールの喉越しがたまらない。枝豆やポテトフライの馬鹿盛りや、焼き鳥など、沢山飲み食いして大いに盛り上がった。
店を出ると未だ明るい。高尾駅から電車に乗ったが、八王子駅で降りて、さらに 3 次会を開催した。
今回のウオーキングで参加人数は延べ 400 人を超えた。次回は 11 月 17 日(土)に紅葉の昭和記念公園だ。もう皆さん後期高齢者なので、お身体を大切にして、またご一緒に元気に歩きましょう！